

グッピーの繁殖研究

水産科3年 笠井 裕太

1. 研究の目的

繁殖力が強く、数十匹の仔魚を産むというグッピーを産卵させ、一回の産卵で何匹の仔魚を出産するのかを調べることと、色や模様がどのように遺伝していくのかを知ろうと思い、昨年从这个研究を始めました。

2. グッピー (*Poecilia reticulata*) について

野生はラテンアメリカ原産で、改良品種は主に東南アジアで養殖されている。

3. 準備と方法

水温を 22°C~27°C に設定し、オス 5 匹・メス 1 匹の親魚で飼育します。産まれた仔魚が親に食べられないように産卵箱を使い、1ヶ月でどれくらい増えるのかを観察します。



図1 レッド・モザイク

・赤いモザイク模様がとても美しい。



図2 ネオン・タキシード

・体の下半分から尾鰭まで青色になる。



図3 フラミンゴ

・体色がフラミンゴのような赤色。



図4 キングコブラ

・スネークスキンと呼ばれる模様が入る。

4. 結果

4月	30尾出産	5月	33尾出産	6月	35尾出産
7, 8月	出産確認なし	9月	10尾出産	10月	15尾出産

5. 反省及び今後の課題

メス親魚が出産する仔魚の数が30匹以上であることを知りました。昨年産まれた仔魚の中に親と同じ模様をした種がいたので、同じ種類を増やしてみようと思います。今後は、野生のグッピーが生態系にどんな影響を与えているのかを調べようと考えています。